

阿波放談

S M B C 日興証券

徳島の経済活動を牽引する方々に、地域に密着した事業展開を語っていただく「S M B C 日興証券 阿波放談」。

第121回は株式会社エクセレントケアシステム

代表取締役CEOの大川寛正氏と

代表取締役COOの大川文也氏にお話を伺いました。



株式会社

エクセレントケアシステム

代表取締役COO

大川文也氏

株式会社

エクセレントケアシステム

代表取締役CEO

大川寛正氏

■「品質方針」の徹底で、高い評価を獲得

寛正氏…当社は介護を中心に、全国9都府県で事業を展開しています。2004年に徳島で創業し、現在はグループとして保育や薬局などにも事業を広げ、福祉の総合カンパニーとして成長を続けています。

文也氏…「おいしい食事」「丁寧な接遇」「豊富なアクティビティ」の3方針を大切にしています。食事面では専任指導員を置き、料理写真を委託業者とICT(情報通信技術)で共有し、(例)利用者ごとに最適な食事メニューを提供する体制を整備。こうした細やかな対応の積み重ねが、平均入居率98%の維持につながっていると考えています。

■経験を生かし、代表の職務を果たす

寛正氏…前職では大手医療機器メーカーで12年間、開発から販売まで携わりました。入社後は、その時の経験を生かし新規事業開発に注力。例えば、「見守り支援機器」の開発・販売を進め、現場の効率化を図るとともに介護の質の向上に取り組んでいます。

文也氏…徳島大学大学院で情報工学を学び、卒業後すぐに入社しました。学んだ知識を生かし社内的情報共有システムを構築したほか、施設長として現場も経験。現在は現場統括を担い、より良い介護サービス提供を目指しています。

■社員一人ひとりの「夢」を大切にする経営

寛正氏…経営を進めていくうえで、一人当たりの労働生産性の向上を意識しています。ただし、効率の追求だけでなく、社員の幸福度を上げてこそ、生産性の高い組織になれる。そのためにも、社員一人ひとりが夢を持ち、成功体験を積むことが重要です。キャリアパスを整え、個々の人生に寄り添う経営を目指します。普段から社員の声に耳を傾け、心の豊かさを支える仕組みをつくっていききたいです。

大川 寛正(おおかわ・ひろまさ)氏
大川 文也(おおかわ・ふみや)氏

2008年にニプロ株式会社入社。20年にエクセレントケアシステムに入り、25年10月から現職。

2012年にエクセレントケアシステムに入社。社内情報共有システムの構築などを担当。25年10月から現職。

「兄弟によるさらなる成長に期待」



複数代表で進めるCxO体制に魅力を感じました。それは、ご兄弟それぞれが持つ前職や長年の介護業界の経験で得た強みを発揮しながらも、一緒になって経営を進めていかれるということ。これからの会社の成長がとても楽しみにになりました。

SMBC日興証券株式会社 徳島支店長 小浦 伸介

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券



徳島支店 TEL.088-622-0151

電話受付時間／平日 午前8:30～午後5:30

徳島市八百屋町2-11(ニッセイ徳島ビル)

www.smbcnikko.co.jp